

つなぐな がれ 広 がれ

NPOの輪

〈市民公益活動団体リレートーク⁽²⁸⁾〉

衣川区スノーバスターズ

※
よ いったこの精神が衣川はまだ根強いんだ。この活動を通して、

今の子どもたちも「絆」「助け合いの気持ち」を身をもって感じているはず。口で教えてもわかるもんでねがら」と語るのは、衣川区スノーバスターズの石川利巳^{としみ}会長です。

同会の設立は、今から15年ほど前のこと。高齢者世帯から民生委員に除雪の相談があり、地域の助け合いの一環で雪かき作業をしたことがきっかけでした。ちょうどその頃、県が雪かきボランティア・スノーバスターズの取り組みを推進していたこともあり、沢内村（当時）、湯田町（同）、栗石町、金ヶ崎町に次いで、平成10年2月に設立しました。

活動内容は、同区内の一人暮らし高齢者など雪かきが困難な人への除

雪支援で、現在、40世帯に支援を行っています。12月から3月までの間、月1回の一斉活動のほか、雪が降った日の次の休日、隊員の都合に合わせて随時雪かき作業を行います。雪かきの範囲は公道から自宅の玄関先までで、生活するのに最低限必要な程度としています。「それでも衣川の門口^{かどぐち}は何十^と戸もあつて長いんだよ」と石川会長は笑います。

雪かき作業と同時に大事なことが訪問先への声掛け。変わったことがないか確認をするためです。スコップと「安心」の気持ちを携えて活動しています。

現在、隊員は24人ですが、地域住民も協力員として20人、衣川中学校（早坂^{まささか}将^{まさる}校長、生徒108人）の生徒52人も一緒に活動をしています。

本年度の出陣式で、除雪活動の強化と作業中の安全を誓い合った隊員とボランティアの中学生



